

特別展 弦楽器の名器たち 閉幕

～大阪音楽大学サントリー弦楽器コレクション展～

7月16日から8月31日まで、特別展「弦楽器の名器たち～大阪音楽大学サントリー弦楽器コレクション展～」を開催しました。この特別展では、平成11年にサントリー株式会社から大阪音楽大学へ寄贈され、その後はじめて学外で展示される弦楽器コレクション、更にヴァイオリンの製作工具などを合わせ約100点紹介しました。展示資料は、ヴァイオリンの伝説的名工、アントニオ・ストラディヴァーリ（1644-1737）が製作した世界に3台しか現存しない「ピッコロ・ヴァイオリン」、ストラディヴァーリと並ぶ名工ジュゼッペ・グアルネーリ（1698-1744）が製作した「ピッコロ・ヴァイオリン」、弦楽器製作の先駆者ガスパロ・ダ・サロ（1540受洗-1609）の製作した「ヴィオラ・ダ・ガンバ」、弓のストラディヴァーリとよばれるフランソワ・トゥルト（1747-1835）が製作したヴァイオリン弓など、歴史上重要な名工が手がけた名器の数々が並び、多くの来館者の方にご覧いただきま

した。また期間中には、現代のヴァイオリン製作マイスターによる講座「ヴァイオリンの秘密を探る」や、サントリー弦楽器コレクションと、当館所蔵の弦楽器を使用したレクチャーコンサートも開催しました。

本年の特別展は夏休み期間に開催したこともあり、数多くの家族連れの方にご覧いただきました。見た目にも美しい展示品に、子供から大人まで目を奪われていました。なお、特別展で展示したサントリー弦楽器コレクションは、10月頃から大阪音楽大学音楽博物館にて常設展示されます。詳しくは、同館までお問い合わせください。

大阪音楽大学音楽博物館

- 開館時間 10:00～16:00
- 休館日 土・日曜日、祝日、12/29～1/8
臨時休館日（下記へお問い合わせください）
- 問い合わせ TEL: 06-6868-1509 (大阪音楽大学音楽博物館)

特別展講座&レクチャーコンサート

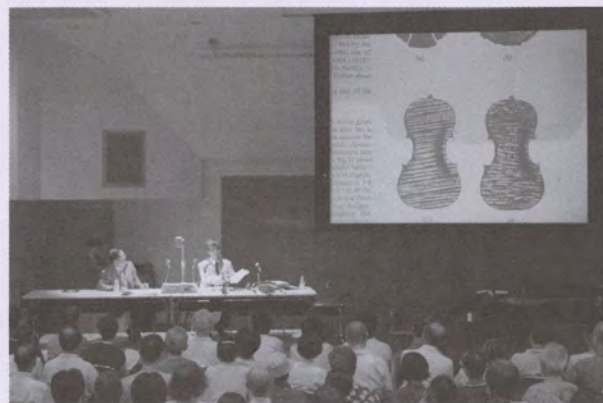
講座「ヴァイオリンの秘密を探る」

日 時：平成 18 年 8 月 5 日（土）14：00～
場 所：アクトシティ浜松音楽工房ホール
講 師：杉山和良（ヴァイオリン製作家）
演 奏：松田淳一（大阪音楽大学講師／ヴァイオリン）、山上華子（19 世紀ピアノ）

入場者：217 名

ヴァイオリン製作家の杉山和良さんを講師にお招きし、普段なかなか知る機会のないヴァイオリンの構造や音の秘密、製作過程などを、製作中の楽器や特殊な構造の楽器を用いて解説しました。また、ヴァイオリニストの松田淳一さんと、ピアノ伴奏に山上華子さんをゲストにお迎えして、実際に様々な弓や楽器で演奏し、その製作者や形、材質による音の違いを聴き比べました。弓や楽器ごとに変化する

音に、驚きの声が上がっていました。質疑応答では専門的な質問もあり、参加者も興味津々といった様子でした。



レクチャーコンサート「ヴァイオリンの歴史と名器たち」



日 時：平成 18 年 8 月 6 日（日）14：00～
場 所：アクトシティ浜松音楽工房ホール

演 奏：松田淳一（大阪音楽大学講師／ヴァイオリン）、山上華子（19 世紀ピアノ）

入場者：215 名

サントリー弦楽器コレクションから名工ストラディヴァリ製作のピッコロ・ヴァイオリンをはじめ 8 種類、当館所蔵楽器から 5 種類の弦楽器が演奏されました。ヴァイオリン奏者の松田淳一さんは、それぞれの楽器の個性にふさわしい選曲で、演奏を聴かせてくださいました。歴史上の名器や、珍しい弦楽器の音色に会場からは大きな反響をいただきました。中には当館に所蔵されて以来、初めて演奏された楽器もあり弦楽器の多様な音や形、魅力を知る事ができました。

レクチャーコンサート「ヴィオラ・ダ・ガンバの歴史を辿る ～中世・ルネサンスからバロックへ～」

日 時：平成 18 年 8 月 19 日（土）14：00～
場 所：アクトシティ浜松音楽工房ホール
演 奏：坂本利文（大阪音楽大学講師／ヴィオラ・ダ・ガンバ他）、坂本洋子（リコーダー他）

入場者：154 名

ヴィオラ・ダ・ガンバは足にはさんで演奏する弦楽器で、バロック時代に最も脚光を浴びました。

このコンサートでは、アラブやイスラム諸国より中世ヨーロッパにもたらされた弦楽器が、ルネサンスを経てバロック時代に至るまでに、その形や音色をどのように変化させていったのかを探りました。ガンバ奏者坂本利文さんによる、それぞれの時代の弦楽器の演奏とそれまつわるお話は、大変興味深いものでした。また、名工ガスパロ・ダ・サロ製作

のヴィオラ・ダ・ガンバの演奏や、リコーダーやゴシックハープとの共演は、より一層いにしへの味わいを深め、会場からはため息もれるほどでした。



第64回レクチャーコンサート「リンバの世界いまむかし」

日 時：平成18年7月8日(土) 14:00～
場 所：アクトシティ浜松音楽工房ホール
演 奏：サカキマンゴー(リンバ他)、ジョゼフ・ン
コシ(パーカッション)、美谷真希(ベース)
入場者：113名

アフリカの楽器「リンバ(親指ピアノ)」のレクチャーコンサートを開催しました。
身のまわりの廃材を利用して作られるこの楽器

は、鉄の棒を弾くと心地よい音色と、同時に、さわり音という不思議な音色を響かせます。時に優しく、時に圧倒されるほどの迫力で、アフリカのリズムに乗せて、リンバの音色とサカキマンゴーさんの美声が、ホールいっぱいに響き渡りました。



素敵な宵のひととき・・・ イブニングトーク&コンサート

閉館後の静かな展示室で、気軽な演奏とお話を楽しめる「イブニングトーク&コンサート」が開かれました。

第1回 インドの弦楽器「サーランギー」

日 時：平成18年8月22日(火) 18:30～
演 奏：小林祐介、女鹿寛子 入場者：40名

インドの弦楽器「サーランギー」を紹介しました。サウ(sau)=100、ラング(rang)=色、という名を持つこの楽器には、39本もの弦が備わっています。そのうち、メロディーを演奏するのは3本のガット弦のみで、他の36本は共鳴弦です。メロディーを追うように、共鳴弦が余韻に満ちた響きを放ちます。100色に変化するその音色。夏の夜のひととき、展示室が神秘的な響きに満たされました。



第2回「シューベルトの即興曲をフォルテピアノで」

日 時：平成18年9月1日(金) 18:30～
演 奏：本多まき 入場者：30名

1810年頃ウィーンで製作された、A.ワルター&サンピアノを使用し、シューベルトの即興曲が演奏されました。当日は多くのクラシックファンが足を運び、約200年前の音色に耳を傾けました。静かな展示室内に響き渡った音色は、七色の虹を表すような美しく多彩な音。当時の響きに包まれ、一夜だけの贅沢なコンサートを楽しみました。



夏の演奏体験ワークショップ

「タンザニアの親指ピアノ・リンバ」

日 時：平成18年8月17日(木)
Aコース13:00～ Bコース15:00～
場 所：アクトシティ浜松研修交流センター
講 師：サマキマンゴー(リンバ演奏家)
参加者：計18名

日本を代表するリンバ奏者サカキマンゴーさんが、その演奏法を伝授してくださいました。現地の演奏風景から、作り方、調律方法まで、軽快な切り口でユーモアたっぷりのお話には、笑いが絶えず、楽しい雰囲気です。アフリカ独特の複雑なリズムと、親指の痛みに悪戦苦闘はするも、熱心なご指導のもと、いつしか会場はリンバの音色に溢れ、不思議な一体感に包まれていました。



「バンジョー」

日 時：平成18年8月20日(日)
Aコース13:00～ Bコース15:00～
場 所：アクトシティ浜松研修交流センター
講 師：原さとし(バンジョー演奏家)
参加者：計22名

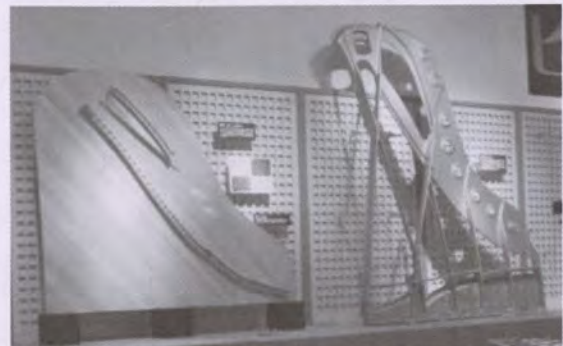
昨年度に引き続き、今回もバンジョー演奏家の原さとしさんを講師にお招きし、バンジョーのワークショップを開催しました。バンジョーの歴史や奏法などの解説を受けた後、原さんによって工夫された教材を使って、大勢で歌いながらの演奏を楽しみました。簡単に演奏できること、大きな音が出ることに驚く方も多かったようです。模範演奏の早弾きに感心し、バンジョーが流行した昔のアメリカに思いを馳せたひとときでした。



企画展「ピアノ大解剖」まもなく開催

期間：平成18年10月22日(日)～12月17日(日)

第6回浜松国際ピアノコンクールの開催に合わせて、楽器博物館ではピアノの企画展を開催します。題して「ピアノ大解剖」。ピアノの構造や製造工程など、ピアノという楽器により接近して、ピアノをつくる側の視点から展示します。浜松におけるピアノづくりの歴史は、日本におけるピアノづくりの歴史そのものでもあります。本展示では、浜松および周辺地域のピアノづくりの歴史も紹介し、先人たちを顕彰するとともに、ピアノの未来を探ります。最新のピアノも登場する予定です。ぜひお越しください。



平成15年度企画展「ピアノ大解剖」展示様子

◆これからの催し物

- ギャラリートーク 毎日曜日
展示室ガイドツアー 展示品の解説
ミニコンサート 学芸員やゲストによる演奏
※内容・時間はお問い合わせ下さい。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日10:00～16:00
1時間毎 チェンバロや19世紀のピアノなどのデモ演奏
- ミュージアムコンサート
「スウェーデンの心 ～ニッケルハルパとともに～」
10/1(日) 14:00～アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏：ラーナリム
- 企画展「ピアノ大解剖」
10/22(日)～12/17(日) 楽器博物館企画展展示室
常設展観覧料のみでご覧いただけます。
ピアノは何歳？ピアノの部品の数はいくつ？ピアノはどうして黒いの？現代のピアノの仕組みや秘密を実物や模型を使って探ります。
- 講座「19世紀のピアノと社会」
第1回 10/18(水)「ピアノ協奏曲の室内楽的性格」
第2回 10/25(水)「シューマン夫妻と近代のピアノ協奏曲」
第3回 11/1(水)「ブラームスの協奏曲に見る、
鳴り響く博物館としての音楽作品」
18:45～楽器博物館展示室
講師：小岩信治(静岡文化芸術大学講師)
- 講座「楽器の中の聖と俗」
第36回 10/21(土)「社会現象“よさこい祭り”」
第37回 12/16(土)「風が作り出す音文化」
第38回 1/20(土)「太鼓の中の“聖”と“俗”」
14:00～アクトシティ浜松研修交流センター
講師：西岡信雄(浜松市楽器博物館名誉館長)
- イブニングトーク&コンサート
「フォルテピアノとデュオピアノ」
11/14(火) 18:30～楽器博物館展示室
演奏：小林道夫、山上華子
- 世界の楽器体験ワークショップ「ジェンベ」
11/4(土) Aコース 13:15～ Bコース 15:00～
講師：寺崎卓也(ジェンベ演奏家)
- 世界の楽器体験ワークショップ「バリ・ガムラン」
11/11(土) Aコース 17:15～ Bコース 19:30～
講師：皆川厚一(ガムラン演奏家)
- レクチャーコンサート
「フルートで巡るサロンの歴史」
12/17(日) 14:00～アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏：有田正広(フルート)、有田千代子(チェンバロ)

◆博物館日誌

- 7/1(土) 市制記念日による無料開放 入場者887名
- 7/8(土) レクチャーコンサート「リンパの世界いまむかし」
14:00～アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏：サカキマンゴーとその仲間 入場者113名
- 7/16(日)～8/31(木)
特別展「弦楽器の名器たち～大阪音楽大学サントリー弦楽器コレクション展～」 入場者9,190名
- 8/5(土) 特別展講座「ヴァイオリンの秘密を探る」
14:00～アクトシティ浜松音楽工房ホール
講師：杉山和良(ヴァイオリン製作者)、演奏：松田淳一(ヴァイオリン)、山上華子(19世紀ピアノ) 入場者217名
- 8/6(日) 特別展レクチャーコンサート「ヴァイオリンの歴史と名器たち」
14:00～アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏：松田淳一(ヴァイオリン)、山上華子(19世紀ピアノ)
入場者215名
- 8/17(木) 世界の楽器体験ワークショップ「リンパ」
Aコース 13:00～ Bコース 15:00～ 講師：サカキマンゴー(リンパ演奏家) 参加者18名
- 8/19(土) 特別展レクチャーコンサート
「ヴィオラ・ダ・ガンパの歴史を辿る～中世・ルネサンスからバロックへ～」
14:00～アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏：坂本利文(ヴィオラ・ダ・ガンパ、フィデル、レベックほか) 坂本洋子(リコーダー、打楽器、ゴシックハーブ)
入場者154名
- 8/20(日) 世界の楽器体験ワークショップ「バンジョー」
Aコース 13:00～ Bコース 15:00～ 講師：原さとし(バンジョー演奏家) 参加者22名
- 8/21(月) 県民の日による無料開放 入場者728名
- 8/22(火) イブニングトーク&コンサート「サーランギー」
18:30～楽器博物館展示室 演奏：小林祐介、女鹿寛子
入場者40名
- 9/1(金) イブニングトーク&コンサート「シューベルトの即興曲をフォルテピアノで」
18:30～楽器博物館展示室 演奏：本多まき 入場者30名

◆6月～8月の観覧者数

	6月	7月	8月	3ヶ月の合計	開館からの累計
大人	4,264	6,337	9,186	19,787	729,518
中人	267	692	409	1,368	30,234
小人	1,113	1,892	2,455	5,460	165,364
幼児	140	561	718	1,419	44,593
計	5,784	9,482	12,768	28,034	969,709

利 用 案 内

開館時間：午前9:30～午後5:00
休館日：毎月第2水曜日(祝日の時は翌日)、年末年始、
その他施設点検等のための臨時休館日
常設展観覧料：個人 団体(20人以上) 団体(80人以上)
大人(大学生以上) 400円 320円 240円
中人(高校生) 200円 160円 120円
※中学生以下、高齢者(70歳以上)、障害者の常設展入館料は無料です。

浜松市楽器博物館だより

平成18年10月1日発行 No.45
編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 静岡県浜松市中央3-9-1
TEL. 053-451-1128
FAX. 053-451-1129
URL: <http://www.gakkihaku.jp>
MAIL: wakuwaku@gakkihaku.jp
印刷 株式会社シバプリント